

第45回まなびや講座

日時：2022年3月13日(日) 1:30~4:30

会場：城沼公民館(館林市松原町 1-22-22)

県道佐野一行田線:レストラン・バーミヤン東

<駐車場が満車の場合は、市役所南面駐車場をご利用ください>

資料代:1,000円

参加に際してはマスク着用をお願いします。新型コロナウイルス感染症の拡大により会場変更の場合は、HPでお知らせします。尚、お問い合わせは当記念館へお願い致します。

テーマ 左部彦次郎の選択と決断

講師 山口徹さん(足尾鉍毒事件田中正造記念館まなびや講座委員長)

【講演要旨】

- 1 左部彦次郎の生き方に取り組む動機…なぜ左部だけが「裏切り」「転向」などの評価を受けるのか。
- 2 左部彦次郎の生涯を「選択」と「決断」の視座から概観してみる。

①風間彦次郎から左部彦次郎へ…左部家の継承 ②大河原はんと結婚…左部家の継続 ③東京専門学校への進学…社会活動への学び ④鉍毒被害地調査…「公共」への献身 ⑤実家へ戻る…妻を看取る ⑥再び被害地へ…被害民と共有する義憤 ⑦谷中村へ入る…苦難への共感 ⑧祖母の死…左部家の転機 ⑨谷中村民の選択…移住か残留か ⑩栃木県の土木吏となる…買収に応じるという事の意味 ⑪堀越ゆわと再婚 ⑫治水事業に取り組み、生涯を終える。

- 3 左部彦次郎の生き方から学ぶこと

安在邦夫先生の『左部彦次郎の生涯』刊行、渡良瀬川研究会主催の「安在邦夫早稲田大学名誉教授の講演と対話集会」を踏まえ、「被害民運動における左部が果たした役割」「左部の“転身”をどう考えるか」等について考えてみたい。左部は至誠一貫、自己犠牲を伴いながらも、他者への献身、公共の利益を守る事など、自分の信念を貫いた生涯であった、と私は感じている。

【講師プロフィール】

1941年 佐野市生まれ。1964年 宇都宮大学学芸学部卒業、栃木県立高等学校社会科教員を務める。2007年5月から、足尾鉍毒事件田中正造記念館の学芸員、まなびや講座委員、展示作成委員、ブックレット編集委員、監事を務め、記念館の諸活動と共に足尾銅山鉍業停止請願運動・田中正造の学びを続けている。

主催 足尾鉍毒事件田中正造記念館 館林市大手町6-50 電話0276(75)8000